

授業科目名・形態	成人保健活動論	演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	吉田 幸子		実務経験の有無	有	開講期	2年後期

【授業の主題】

成人保健分野における保健活動の動向を踏まえ、成人期の特徴と健康問題を理解し、健康レベルに応じたセルフケアを促すために、健康の保持増進や疾病予防対策の具体的な方法や技術を学び、日常の生活習慣と生活習慣病の関連を理解し、高齢期を元気で過ごすための基礎的な健康づくりを支援する能力を養う。

【到達目標】

1. 成人保健活動の動向を踏まえ、成人期の特徴と健康問題を理解できる。
2. 成人の健康レベルに応じたセルフケアの方法や技術を修得できる。
3. 生活習慣と生活習慣病の関連を理解し、高齢期を元気で過ごすための基礎的な健康づくりを支援する能力を養うことができる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 成人保健の理念（成人保健の動向及び歴史的変遷）
- 第 2 回 成人保健施策と保健活動①
- 第 3 回 成人保健施策と保健活動②
- 第 4 回 成人の生活習慣病及び生活習慣病の状況
- 第 5 回 成人期の特徴と発達課題・成人期の保健活動
- 第 6 回 生活習慣病の保健指導の実際（病態別保健指導の実際）
- 第 7 回 生活習慣病と保健指導の実際（生活習慣改善のための保健指導）
- 第 8 回 各種検（健）診の目的・対象・方法・支援の実際
- 第 9 回 成人期におけるメンタルヘルス
- 第 10 回 特定健康診査・特定保健指導を理解する。
- 第 11 回 特定保健指導の実際 ①特定保健指導計画
- 第 12 回 特定保健指導の実際 ②特定保健指導計画と評価
- 第 13 回・第 14 回 特定保健指導の実際（生活習慣改善のための保健指導）（演習）
- 第 15 回 成人保健の今後の課題（地域・職域との連携。関連機関との連携）

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

2年生までの関連する科目（成人看護学）で学んだことを復習し、教科書を読んで講義に臨む。

【主な関連する科目】

「成人看護学概論」「成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「保健医療福祉行政論」「公衆衛生看護学」の科目・実習

【教科書等】

公衆衛生看護学テキスト第3巻 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版（2022年発行）、医歯薬出版株式会社、2022
国民衛生の動向 2022/2023年版、厚生労働統計協会

【参考文献】

特になし

【成績評価方法】

筆記試験の成績 90%、課題レポート 10%を総合して評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

保健師として住民の健康管理支援を実践してきた。学生には特に成人期の生活習慣病予防の健康づくり対策として保健師の様々な事業への取り組む姿勢を授業で活かしたい。

【学生へのメッセージ】

成人期は、生涯の中で心身共に最も充実した時期であるが、社会情勢やライフスタイルの変化からのストレスは心身の健康に大きな影響を及ぼし、又成人期の生活習慣は、高齢期への影響も大きく非常に重要な時期であることを念頭に、常に社会情勢に関心をもち、授業の予習・復習を心がけて下さい。